

日本経済新聞

2018年4月27日 (金)

検索欄: 記事 株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

格差の収束、反転する懸念 イアン・ブレマー氏

米ユーラシア・グループ社長

グローバルオピニオン

2018/4/20付 [有料会員限定]

保存 共有 印刷 CO ME ツイット f その他

労働者はいたるところで、雇用と賃金を失うことを恐れている。市民は国境を越えてやってくる見知らぬ外国人や、理解できない理由で人を殺すテロリスト、犯罪者を恐れる。さらに人々は、政府には国民を守る能力も意思もないのではないかと強い不安を抱いている。

助けを求める声に応じてくれる人はいた。トランプ米大統領や欧州で主流派の政治に挑戦している右翼の政治家のようなポピュリストには、境界線を引く才能がある。「我々対彼ら」という構図で、自らの権利を奪おうとする者と戦う市民というビジョンを提示する。「彼ら」は富裕層や貧困層かもしれない。外国人や少数派、政治家、銀行家かもしれない。ポピュリストは、安心感を失って生活水準が低下し、自分の国がアイデンティティーを失いつつあると心配する人々の心理を巧みに突く。



Ian Bremmer 世界の政治リスク分析に定評。著書に「スーパーパワー——Gゼロ時代のアメリカの選択」など。48歳。ツイッター@ianbremmer

もっと大きな危機もやってくる。職場の技術変革や所得格差に対する不満の高まりなど欧米に混乱を引き起こしている嵐は、いまや政府や制度の準備が十分に整備されていない途上国にも及んでいる。社会のセーフティーネットが先進国ほど整っていない途上国は、脆弱な立場にある。多くの途上国は技術の変化に対応する備えができておらず、貧富の格差も開いている。

途上国は、多くの人が農村部に暮らす貧しい国として成長をスタートする。若者は高賃金を期待し、雇用の受け皿のある都市部に移住し始める。若者は働く準備ができており、安価な労働力が急増すれば、賃金が高い国に工場を持つ製造業が移転してくる。新しい雇用があるという情報が農村部に伝わり、より多くの若者が都市部へ向かう。こうした物語が中国やインド、東南アジア、サハラ砂漠より南に位置するアフリカ諸国、中南米などで幾度も繰り返されてきた。

発展の次の段階は、貧しかった労働者が賃上げと労働条件の改善を要求するようになった際に始まる。新たな消費者階級が誕生する。賃金上昇により、外国企業にとっての魅力は薄れるが、有能で改革志向が高い政府であれば適応できる。新たな技術は、発明しても購入しても、あるいは盗んだ場合でさえ労働者の生産性向上に寄与するだろう。

より高度で付加価値の高い製品やサービスが編み出され、賃金はさらに上昇し、中間層が生まれる。一方、望ましい人口構成や労働者の移動、経済成長、政治改革などに依存していた循環は壊れ始める。低賃金はもともと、貧しい国や人々が豊かになるのを助けるものだった。だが職場の技術変革は、低賃金の優位性を大幅に低下させるはずだ。

人工知能(AI)などが経済分野に幅広く導入されることで、人々の雇用に、より高い教育や訓練が必要となるのは確実だ。金銭的な余裕がある人が教育を受け、知識と技

日経平均(円) 4/26 大引	22,319.61	+104.29	+0.47%
NYダウ(ドル) 4/26 終値	24,322.34	+238.51	+0.99%
日経アジア300 4/26 終値	1,396.63	-7.94	-0.56%
ドル(円) 4/27 7:05	109.31-32	-0.01円高	-0.00%
ユーロ(円) 4/27 7:06	132.34-38	-0.64円高	-0.48%
長期金利(%) 4/26 16:57	0.055	±0.000	
NY原油(ドル) 4/26 18:01	68.15	-0.04	-0.05%

日経平均について (銘柄一覧) Quick

知は、力なり。日本経済新聞

無料 5月未まで

日経産業新聞 ビューターが

春割実施中!

日経からのお知らせ

社会人採用、通年で募集 「高度な専門記者」も

会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】

有料オプションが5月末まで無料！春割実施中！

おすすめ情報

- 夜トイレに3回で大変...何が原因? Gooday
- 米アマゾン「目を持つAI」の威力 BizGate
- お客様へおもてなしは名店の個室で レストラン
- 外資系コンサルが欲しい人材とは スキルアップ
- 1社に縛られず稼ぐ!極意は3つの力 転職
- NYに住むならどんな家?都市名で検索 海外不動産
- 接待の手土産、定番とサプライズ レストラン
- BizGateセミナー 営業デジタル改革 BizGate

[PR] 一覧はこちら

日本初導入事例

スマートシティ成功のカギとなる欧州発のサービスプラットフォームとは/NEC

羽田圭介に聞いた

芥川賞作家が実践するカラダと心のマネジメントって? /アサヒ飲料「カラダカルピス」

安定した賃貸経営のために

FP北野氏と考える、不動産経営の今後と課題 /ハウスメイトパートナーズ

能を身につけた人が高賃金の雇用機会を得ることになる。高い教育や訓練の結果、職に就くという流れから外れた人の将来は暗くなる。

欧米でも、AIが浸透する時代に雇用機会を確保するのは簡単でないが、途上国でははるかに難しくなるだろう。自動化などに伴い途上国の労働力の価値が下がれば、労働者は、AI時代に世界で成功するために必要な教育を受けることが不可能になってしまうかもしれない。成長率が低下すれば国の歳入が減り、教育やサービス、インフラなど中間層が政府に期待するような支出も減る傾向になる。好循環が悪循環へと変わってしまう。

技術変革が創出する雇用より、消える雇用のほうが多くなるかどうか、現時点ではまだわからない。しかし新たな雇用は、今までの雇用とは異なったものになる。新たな雇用に必要な教育や訓練は労働者の負担になるため、新たな世界に飛躍できない人も出てくる懸念を強調したい。

エネルギーと野心にあふれた若者はどこに向かうだろうか。貧困から脱出する道がふさがれる中、多くの途上国で、若い世代が労働力から政治的な脅威へ変わる可能性がある。若者が現役の労働力になれなければ、新たな雇用に必要な教育や訓練へのきっかけも得られない。

若者の次に待ち構える子どもたちの世代も同様だ。雇用を維持できる人々であってもより低い賃金、より少ない手当てで働くことになるだろう。変化の波で敗れる人々が、どんな政党を支持するかはわからない。あるいは、システムそのものに宣戦布告をするかもしれない。

過去50年に世界で起きた最も重要な出来事である、豊かな国と貧しい国の富の収束が、完全に反転することになりかねない状況だ。新たな技術という経済・社会的な現実には人々が適応するのを可能にする教育制度、労働者の再訓練ができるのは豊かな国だけになる。我々の生きる時代は、富の収束が反転することが最大の出来事になるかもしれない。

保存 共有 印刷 翻訳 CO ME 他

電子版トップ

関連キーワード

- グローバルオペニオン イアン・ブレマー ユーラシアグループ ドナルド・トランプ ヨーロッパ

PR 新年度までに知っておきたい！上場企業ランキング／日経キャリアNET

類似している記事 (自動検索)

- 格差の収束、反転する懸念 (2018/4/20付)
貧困の戦後史 岩田正美著 (2018/1/20 6:00)
世界の若者失業率、17年は13.1% 2年連続で悪化 (2017/11/21 10:00)
AIの雇用への影響を考える(5)対応後れ 競争力低下も (2017/11/10 2:30)
労働市場改革の意義(上)産業構造変化に対応 必須 (2017/8/31付)

PR 【春割】日経産業新聞ビューアーが5月末まで無料！申込はこちら

PR 日立金属が研究拠点「GRIT」を創設。その真意とは？ 平木明敏社長に迫る

PR 個室で過ごす贅沢なひととき 特別な日のお店探しに/大人のレストランガイド

NPS(R)で顧客満足度アップ
ソフトバンク宮内社長とペイン&カンパニー奥野氏が語る/ペイン&カンパニー

日経 NHK SOCIAL INNOVATION FORUM 社会イノベーションフォーラム
地方創生フォーラム
日経 地方創生フォーラム 2月20日開催
「官民連携と地域連携で実現する地方創生」
～実装に入った地方創生～
最新の採録情報はコチラから

アクセスランキング 一覧
1. EU、IT巨人に規制案
2. (私の履歴書) 高田明(26)海外勤務
3. 福田前次官のセクハラ認定 財務省、退職金減額へ
4. (パンゲアの扉-つながる世界) 覆る常識 (5) 情報の鎖がお墨付き
5. (真相深層) 政権混乱、小池氏の「蠢動」
6. (ビジネスTODAY) 任天堂脱カリスマ第2章 46歳古川氏次期社長に
7. ヤマトHD、業績V字回復
8. 農林中金、預金金利下げ
9. (春秋) 「智恵子は東京に空が無いといふ、/ほんとの空が見たいといふ」。詩...
10. 野党、戦略なき審議拒否
4/27 7:00 更新

Mother's Day
母へ、そして母でもあるパートナーへ。想いを伝える母の日ギフト。 未来ショッピング

日経BP社
日経ウーマンオンライン
絶対アウトなセクハラの重みをオジサンが理解しない訳
日経 xTECH (クロステック)
ECに破壊される前に自ら壊す、米Aパレル企業のショーケース戦略の真髄

日経ビジネス
Beyond 2020 by 日経ESG
大和ハウス、ロボットで3K現場の腰痛なくす